

第1回 エートスいわき 会合

日時：平成24年1月15日（日） 2：00 P.M.～5：00 P.M.

会場：珈琲の森

出席者：@ando_ryoko さん @mik618 さん @azimam さん @iwaki_ponta さん
@team329 さん @canaboon さん @m_aber

議事録・文責：@m_aber

議題

1. 2月25～26日に伊達市で「福島のエートス」として開催されるICRPの『対話』ミーティング@ando_ryoko さん発表へ向けて。

学者側による発表が多く、住民側からの発表が少ない（@ando_ryoko さん含め2名のみ）



「現場や住民の声が学者側にきちんと伝わっていない可能性が高く、住民の要望が行政に届いていない現状を踏まえて、昨年行った久之浜PRJを総括しそれを反映した活動を含めて発表するのがよいのでは」という視点が出され、これを土台に話し合いが進んでいった。



「会場アンケートから住民の要望を探し出しては」という提案が出されアンケートに目を通す。



住民の意識調査を実施し、その中の要望を全て吸い上げてアンケートを作成し発表に反映することによって、届きにくい住民の声をICRP会合の場で表明することによって、陽の当たっていない場所へスポットを当てて周知させていきたい。



住人ごとに置かれている住環境、家族の状況、年齢、仕事への影響など、それぞれ背景が異なるので、各々の背景に沿った支援や活動方法があるのではないかという結論に達する。



それぞれの背景のカテゴリー分けを行った上で、エートスいわきとして支援できるカテゴリーを決め活動して行く。支援不可能なカテゴリーに関しては、支援可能な組織や団体を探したり紹介できるかどうか、今後検討していく。

1-1. アンケート・意識調査を実施するにあたり、いわき市北部地区がその候補に挙がった。

○置かれている現状

- a.他の地区よりも比較的放射線量が高いために他の場所へ避難している母子の人数が多く、子供の減少が著しい。
- b.住人のEさんは、汚染状況が分からない状況では避難している人たちが戻ってくることができないので、空間の放射線量と土壌の放射性物質量の測定と通学路の除染を希望しているが、支援の手が十分ではなく実行できていない。
- c.母子が避難せざるを得ない状況が続き家族の絆に軋轢や亀裂が生じたり、年末年始に孫の顔を見ることができなくて悲しみに暮れる高齢者が多数発生している。

○目標

2月上旬を目処に、アンケート・意識調査を実施する。

○行動

- a.意識調査をスムーズに且つ効果的に実施するために、Eさんの協力を仰ぐ。
- b.アンケート・意識調査の内容を考える。

1-2. 久之浜プロジェクトの可視化の方法について

現在

文章：文字起こしたものをエートスのサイトにアップロードして一般公開中

映像・音声：非公開→こちらもアップロードして一般公開してみては？

↓

その場の雰囲気や空気を確実に伝えることはできるが聞き流される懸念。

↓

その点、文字の場合その懸念が少なく訴求力がある。

↓

※原則文章のみ一般公開。映像・音声は希望者が閲覧できるように環境を整備する。

2. エートスいわきの実地活動について

◎いわき市北部地域：現時点での重要地域

○中心となる活動

ベラルーシでの活動をお手本とする。

↓

※一家庭ではなく、地区全体の空間線量と土壌の放射性物質量の測定

○支援できる背景のカテゴリー

土壌の測定は家庭菜園のレベルが限度では？

↓

次回までに背景のカテゴリー分けを各自考え、持ち寄った上で支援可能な背景のカテゴリーを検討して行く。

○専門家の先生の招聘、測定機器の調達、土壌測定の手段

a.専門家の先生→招聘はそれほど困難ではない。→どの分野の専門が適任かを見極めた上で招聘する。

b.空間線量の測定機器→調達は容易。

c.土壌の放射性物質量の検査機器→独自で調達するのは現実的に困難。

↓

民間の測定施設で検査→小名浜市民測定所は現時点で3月末まで予約が埋まっている。

↓

※今後の情勢を見極めた上で適切な方法を検討し実施する。

○測定の方法と測定結果の利用方法

a.住民と専門家が共同で測定する。

↓

両者の信頼関係が築かれ、測定された数値を読み解く際に説得力を与える。

b.測定された数値から必要な防護方法を検討する。

↓

住民と専門家が一緒になってよりよい防護方法を考え実行する。

3. エートスとしての今後の活動と組織のあり方について

3-1. ツイッターやインターネットユーザーの ETOHS 活動と現地住民による実地活動の在り方について

○エートスの主目的：住人自らの手で、放射線測定を行い実情に適した放射線防護を行うことによって、原発事故によって損なわれてしまった故郷の住環境や住民の尊厳を回復して行くこと。

↓

現地での自発的な活動が最優先される。

↓

ネットユーザーによる翻訳作業・情報収集活動などにあって、現地の活動を効果的且つ円滑に行うことができる。

3-2. 新たにエートス活動を行う可能性のある地域とエートスの名称について

○福島県内の低線量地域と同等以上の県外の地域を想定。

a. 福島県と県境を接する宮城県南部地域

b. 千葉県柏市周辺

c. 茨城県守谷市周辺

など

○その際に、「エートス福島という名称を頂点としてその下に他県地域名称の『エートス〇〇』が入るのでは、活動する際に混乱や不都合が生じるのではないか？」という懸念と疑問。

↓

@buvery 先生と密接に連絡を取りつつ名称変更の必要性があるかどうか臨機応変に対応する。

3-3. エートスいわきの NPO 法人化について

現状では、参加者による持ち出しでの活動にならざるを得ないため、寄付や補助金を受けてできるだけ金銭的な負担がなく活動して行くためには、どのような団体の形態が最適か？

↓

NPO 法人化が寄付や補助金などの入出金の流れの可視化や透明性を高めるためには最適なのは？

↓

@team329 さんが NPO 法人設立の条件などを調査し、次回会合で報告する。

4. 決定事項、連絡事項など

○会合の日時・場所

毎週日曜日 2:00 P.M.~5:00 P.M.

珈琲の森

○出欠の確認

@mik618 さんがツイッター内の #エートスいわき タグで確認。

○議事録作成

@m_aber←欠席時は録音して議事内容を保存するなど検討する。

↓

可能な限り、議事の可視化・透明化を目指す。

○次回会合までの作業

a.Eさんへのアポイントメントと協力をお願い

担当：@ando_ryokoさん @azimamさん

b.アンケート・意識調査の原案の作成

担当：@mik618さん @iwaki_pontaさん @team329さん @canaboonさん

c.住人ごとに置かれている住環境、家族の状況、年齢、仕事への影響など、

それぞれの背景のカテゴリー分けの原案作り

担当：全員

d.NPO法人化へ向けての情報および資料の収集

担当：@team329さん

e.議事録作成

担当：@m_aber